



ダンボールコンポスト 困った時のポイント

○ダンボールコンポストの温度が上がらない

微生物がすみつき、活発に活動しはじめると、基材の温度が上がり、夏場だと60℃まであがることもあります。しかし、このようになるためにはある程度時間がかかります。ダンボールコンポストを始めてから1週間程度は、あまり温度は上がりません。

1週間経っても温度が上がらない時は、微生物が分解しやすいごはんなどの「炭水化物」や、てんぷらをあげた時の「油」などを入れると温度が上がります。

○虫が発生した

溜めておいた生ごみをそのまま放置したり、ダンボールコンポストのカバーをしっかりと閉めていないと、アメリカミズアブ(刺さないアブ)、コバエ、ダニなどが入ってきてしまうことがあります。これらの虫は生ごみの分解の邪魔をしますが、「虫が気持ち悪いので早くなんとかしたい」という場合は、以下の方法を試してみてください。

1. 箱の中身を透明なビニール袋に入れて、空気を抜く
2. のし餅のように平たくしてから、クラフトテープなどで密閉
3. コンクリートの上などで、裏表をかえしながら、3日程度日光に当てる
4. 熱と酸欠で虫が死んでから、中身を箱に戻す(虫の死骸も自然に分解され、たい肥になります)

○熟成のタイミングが分からない

熟成は、生ごみの投入が終わった基材をたい肥として使うための準備です。熟成のタイミングは、基材の色が黒くなり混ぜにくくなったり、生ごみが分解されなくなったりして、腐敗臭がしてきたときです。また、たい肥として使いたい時期が決まっているときは、使う日から逆算して、1ヵ月以上前から生ごみの投入を止めて熟成を行ってください。



分からないこと、不安なことがあれば、**エコひろば(042-656-3054)まで!** 講習会でも質問を受付しています!

生ごみリサイクルリーダー紹介③ 守田さん ダンボールコンポスト講習会を担当。



守田さんから一言

生ごみをそのままおいている時は、大急ぎでバケツのフタをするようでしたが、ダンボールコンポストをはじめてからは大事なものを扱う感じです。臭いが出る前にコンポストで微生物が待っています。小さい庭も、野菜が元気です。



ダンボールコンポストで作ったたい肥と、新しい基材との無料交換

八王子市では、ダンボールコンポストで作ったたい肥と、新しい基材の無料交換を行っています。

使わないたい肥があるときは、ごみ減量対策課にお電話ください。お近くの清掃事業所の職員がご自宅まで引き取りにお伺いし、その際ご希望があれば交換用の基材を無料でお渡ししています。

※ 交換はダンボールコンポスト1箱分のたい肥から。ただし、ダンボール箱の無料交換はありません。

みなさんから引き取ったたい肥は、八王子駅南口とちの木デッキ花壇等で活用し、ダンボールコンポストのたい肥を使っていることをお知らせする看板を設置しています。

また、平成29年(2017年)に開催された全国都市緑化はちおうじフェアのサテライト会場やスポット会場でも活用されました。

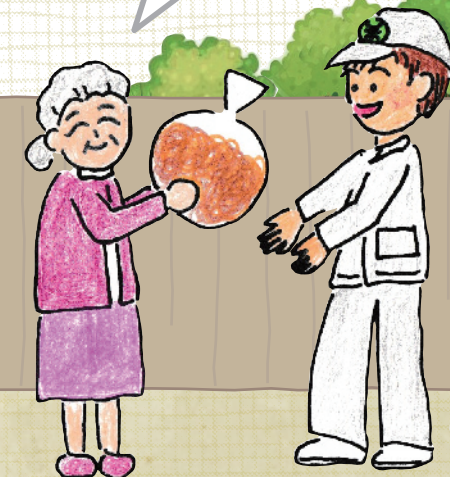
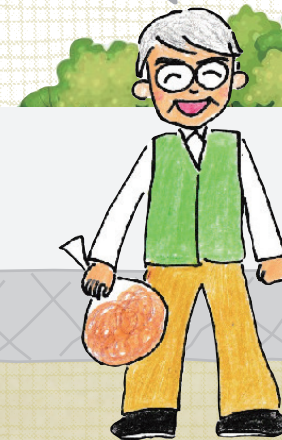


八王子駅南口とちの木デッキ花壇

ダンボールコンポストで作ったたい肥の交換依頼は、ごみ減量対策課へ
電話 042-620-7256

作ったたい肥と新しい基材を無料で交換してもらえるので、続けやすいね!

完成した「たい肥」は重いので、引き取りに来てもらえると、助かりますねえ。





ダンボールコンポスト講習会

市では、ダンボールコンポストの講習会を年に30回ほど開催しています。

講習会では、八王子市民である生ごみリサイクルリーダーが講師を務め、使い方やコツなどを実物を交えてわかりやすくお伝えしています。

講習会は**スタート講習**と**ステップアップ講習**の全2回。スタート講習は、これから始める方のために使い方を、ステップアップ講習は、取り組み始めてからの疑問解決を中心とした内容となっています。



講習会では、講師が実践中のダンボールコンポストを見ることが出来ます。

講習会の窓口であるエコひろばでは、講習会以外でもダンボールコンポストの相談を随時受け付けていますので、取り組み中に困ったことはお電話でご相談いただけます。



出前講座のご案内

5名以上でダンボールコンポストについての説明を希望される場合、出前講座を随時行っています。講師はダンボールコンポストに詳しい、市認定のリサイクルリーダーが務めます。

ご希望の日程等調整させていただきますので、まずはエコひろばまで、ご連絡ください！

ダンボールコンポスト講習会、ダンボールコンポストの購入や、ご相談は**エコひろば**へ！

エコひろば（八王子市環境学習室） 毎週月曜日休み 9：00～17：00
八王子市北野町596-3 あったかホール1階
電話：042-656-3054 FAX：042-631-9422
E-mail：eco-hiroba@marble.ocn.ne.jp



ダンボールコンポストの校内活用

毎年、市内小学校の一部にダンボールコンポストを設置し、4年生の児童が家庭から持参した生ごみや給食の食べ残しをたい肥化する校内活用事業を行なっています。ダンボールコンポストの使い方や仕組みを説明する授業では、八王子市の生ごみリサイクルリーダーが講師を務めています。児童は毎日投入する生ごみの量やダンボールコンポストの中の温度も記録票に記入していきます。できたたい肥は学校農園や、学校のたんぼで活用しており、農園で収穫したダイコンを学校給食で利用している学校もあります。式分方小学校はこの取り組みで第5回グッドライフアワード（※1）の環境大臣賞学校部門を受賞しました。また、檜原小学校のダンボールコンポスト授業を題材として市民が作成した動画が、第2回SDGsクリエイティブアワード（※2）でGOLD AWARDを受賞しました。

※1 グッドライフアワードは、環境と社会により活動を応援する環境省主催のプロジェクトで、社会をよくする取組を「環境大臣賞」として幅広く表彰しています。（「グッドライフアワード」ホームページより）

※2 SDGsクリエイティブアワードは、世界が抱えている課題や地域での協働アクションをあらゆる方法で表現した動画作品の募集・表彰を行っています。（「SDGsクリエイティブアワード」ホームページより）

ダンボールコンポストに取り組んだみんなの感想！

- ★ 生ごみを持ってるのは大変だったけど、温度が上がったり、生ごみが消えたいするのがおもしろかった！
- ★ 思ったほどくさくなかった。
- ★ いっぱい生ごみを入れると、重くて混ぜるのが大変だった。



式分方小学校での生ごみ投入の様子



大和田小の学校農園でダイコンの収穫



宮上小のたんぼ

この体験をきっかけに、生ごみ減量に関心を持ってくれたらうれしいな



生ごみリサイクルリーダー紹介④ 鍵山さん

校内活用の授業での講師、ダンボールコンポスト講習会を担当しています。



鍵山さんから一言

校内活用の授業では、興味を引くスライドとわかりやすい内容を心がけています。はじめはみんな、「生ごみは苦手！」と言ってスタートしますが、最後には、「生ごみが消えておもしろくなった！」と話してくれます。

今後、この体験が生かされ、環境を大切にしていってくださることを期待しています！



「食品ロス」を減らそう



食品ロスとは、本来食べられるにもかかわらず捨てられている食品のことです。

食品ロスの発生量は平成29年度(2017年度)日本全体で年間約612万ト。一人1日あたり約132g(茶碗1杯分のご飯の量に相当)捨てていることとなります。

生ごみ減量につながる食品ロスの削減は、家庭で気軽に取り組めるものが多くありますので、ぜひ始めてみませんか？

エコクッキングにチャレンジ！

野菜の皮、食べ残しの再利用などのエコクッキング、最近はインターネットで検索すればいろいろなレシピが掲載されています。自分好みのレシピを見つけて、ときどきはチャレンジ！

おいそうだなあ
にんじんの皮が
余ったときにいいね♥



にんじんの皮とじゃがいもの仲良しあげ(カレー風味)

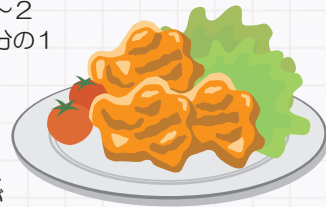
★生ごみリサイクルリーダーのご家庭で人気のレシピです★

材料(2人分)

- ・にんじんの皮・・・1本分(お好みの量で)
- ・じゃがいも・・・1個(細切りにする)
- ・小麦粉・・・大さじ1~2
- ・カレー粉・・・小さじ2分の1
- ・水・・・適量

作り方

小麦粉と水、カレー粉を混ぜ、そこに、にんじんの皮とじゃがいもを入れてかき混ぜ、170~180度の油でカリッと揚げます。お好みで塩をつけて。



保存方法に気をつけて！

せっかく購入した食品が傷んでしまったらもったいないですね。

それぞれの食品に合った方法で保存して、食品を長持ちさせましょう。

また、賞味期限とは、おいしく食べられる期間で、消費期限とは安全に食べることができる期間。こんなことも覚えておくと食材を上手に使いそうです。

余ってしまいそうな缶詰・レトルト食品など、早めに気づいたら...

「賞味期限が一定期間あること」「常温で保存可能で未開封のもの」などの条件を満たせば、家庭にある食品をフードバンクへ寄付することができます。集まった食品は、必要とされる方々へ届けられます。市内では、「フードバンクTAMA」、「フードバンク八王子」、「フードバンク八王子えがお」(五十音順)の3団体が活動しています。寄付についての詳細は、各団体へお問い合わせください。(以下、各団体の二次元コード)



食品ロス、八王子市の取り組み

八王子市では、食品ロス削減のため、八王子市内の飲食店の協力のもと、食べきりを呼びかけるポスターやステッカーの掲示をしています。また、食品ロス削減に協力していただける店舗を認定する「八王子市完食応援店」制度の登録店舗では、食品ロス削減啓発物の掲示や小盛りメニューの対応などを実施しています。これらのポスターやステッカーのデザインは、東京造形大学の学生グループ考案のものです。

買い物前にチェック！

買い物前には冷蔵庫や戸棚をチェック。ないと思って買ったのに「あった！」なんてことを防げます。冷蔵庫に食材の定位置があると、さらに見やすくなります。

冷蔵庫にあったのに、同じもの
買ってきちゃったよ...



いつもとは違う僕の顔がとても印象的なポスターやステッカーが、市内100以上のお店で「食べきり」を呼びかけています。
みなさん、無理のない範囲でおいしく食べましょう！

